

別紙4

ノーリフティングケア先進施設の指定に向けた提出書類について

【審査について】

別紙1「大分県ノーリフティングケア先進施設指定に係る審査基準」に則って審査を行います。「管理者」「推進組織」など7項目において、書類審査を行います。

様式については問いませんが、審査基準を満たしていることが分かるように書類を整えてください。

別紙3「提出書類一覧」や各審査項目に例として記載している書類以外にも、必要なもの（独自のマニュアル等）があれば、提出してください。

【各項目の審査・確認内容について】

➤ 管理者

管理者が、ノーリフティングケアの取組に積極的に介入しているか、推進リーダーとしての役割を果たしているかを審査します。

例) 推進委員会の組織図・名簿：管理者が関与しているかを確認します。

推進委員会の議事録：管理者がしっかりと出席しているか、委員会の中で発言するなど積極的に関与しているかを確認します。

➤ 推進組織

ノーリフティングケアを推進するための推進組織（委員会など）が設置されているか、委員会がリスクマネジメントを実施しているかを審査します。

例) 推進委員会の名簿：管理者・教育担当者・技術指導者などの役割を確認します。

推進委員会の議事録：定期的開催されているか、毎回の参加者にばらつきがないか、組織的にノーリフティングケアを進めているかなどを確認します。

➤ リスクマネジメント

ケアの場面に限らず、リスクの抽出から検討、対策の立案などPDCAサイクルに則り、リスクマネジメントができていないかを審査します。

例) ヒヤリハット報告書：職員からリスクの抽出ができていないかを確認します。

リスクマネジメントフロー：抽出されたリスクに対して、どの様に組織的に介入しているかを確認します。

リスクマネジメントに係る議事録：どの様なメンバーで、どの様に議論し、どの様な対策を取ったかを確認します。

➤ **職員の健康管理**

腰痛調査が定期的に行われているか、リスクのある職員に対応しているか、調査から分かった腰痛リスクに対して改善活動を行っているかを審査します。

例) 腰痛調査結果：過去の腰痛調査の結果について、腰痛率の経時的な変化を確認します。

腰痛者への対応：腰痛のある職員に対して、どの様に対応しているかを確認します。
腰痛リスクに対する対応についてまとめたものを確認します。

➤ **利用者のアセスメント・プランニング**

利用者に対してノーリフティングケアの視点を持って、アセスメント・プランニングを行っているかを審査します。アセスメントシートの利用など、プラン作成の体制が整っているかを審査します。

例) アセスメントシート：アセスメントのマニュアルなど方法を確認します。

ケアプラン作成の手順書：どのようにアセスメントを行い、プラン作成をしているかを確認します。

利用者のケアプラン：ノーリフティングケアの視点を持って作成しているかを確認します。

➤ **職員教育**

ノーリフティングケアの教育体制が整っているか、計画的に実施しているかを審査します。職員名簿とリンクして、計画的に受講する体制が整っているかを審査します。

例) 研修計画：ノーリフティングケアについてどのような研修を年間どれくらい実施しているかを確認します。

研修報告：研修の参加者、フォローアップの有無などを確認します。

参加者の技術チェックを行っているかなどを確認します。

指導基準：マニュアルや評価表など、参加者の技術の習熟度のチェックをどのように行っているかを確認します。

➤ **福祉用具の導入**

福祉用具の整備状況、不足しているものがあつた場合に、導入計画を立案しているかを審査します。

例) 福祉用具の整備状況：福祉用具の設置位置（配置図）や福祉用具の一覧によって福祉用具が充足しているか確認します。

福祉用具導入計画：今後の導入計画について確認します。